

令和3年 3月25日

1、本園の教育目標並びに保育の重点

<教育目標> ・意志の強い実行力のある子ども ・健康で明るい素直な子ども ・心が豊かででのびのびと表現のできる子ども <保育の重点> ・大勢の子どもたちの中から、気の合う友だちを見つけ、遊びを楽しむ。 ・異年齢の子どもたちとふれ合いの中で、優しい気持ちや思いやりの気持ちを育む。 ・様々な子どもたちとふれ合うことでトラブルもあるが、こうしたふれ合いの中で人のかかわり方をたくさん学んでいく。 ・様々な場で、思いの伝え合いを楽しむ。 ・お互い刺激し合いながら、いろいろなことに挑戦する。

2、本年度定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

・指導計画の作成、記録の取り方、考察の仕方を研修研究する。 ・幼児の発達の姿や、課題についての見通しを持っている。
--

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1) 指導計画の作成、記録の取り方、考察の仕方を研修研究する。	A	始業が2か月遅れたことで、大幅に指導計画の練り直しを行いながら保育を進めてきた。 はじめての試みも多く、試行錯誤しながらの保育のため、毎週のミーティング等で、多角的に子どもの姿を捉え考察するようになってきた。
(2) 幼児の発達の姿や、課題についての見通しを持っている。	B	感染症対策を取りながらの保育のため、一年間で培われる成長の姿を見越して、例年以上に見通しや目標設定を持ちながら保育に臨んできた。 感染対策上、運動面などの課題が残ったりしているので、引き続き新しい生活様式に合わせて保育を柔軟に変えていくようにしたい。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	一人一人の育ちを理解し、幼稚園生活の中で必要な課題を探り、保育の中に生かしていく努力をしている。


5、今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別に支援が必要な園児が成長するために安心して過ごせる環境や教職員の協力体制のあり方	支援が必要な園児について教職員で共通理解し、保護者や関係療育機関との情報や連絡を密にしながら援助の方法を探る。 保護者の思いを共有し協力して進める。

6、学校関係者評価委員会の評価

評価	氏名	評価	氏名
A	天笠 善照	A	天笠 善照
A	天笠 善照	A	天笠 善照
A	天笠 善照	A	天笠 善照

7、設置者の評価

評価	氏名	印	コメント
A	天笠 善照		コロナ禍でもより良い園生活になるよう常に前向きな考えと行動が随所に感じられた

評価結果の表示方法
 A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する